

科目名	観光振興論Ⅱ	科目コード	1472	単位数	3
担当者名	山田 勅之	開講セメスター	第5セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	講義	到達目標	D,F	実務経験	
ナンバリング	JTp504	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

●授業のねらい

近年、観光振興を通じて、まちづくりや地域振興を図る動きが活発です。本講義では、様々な地域資源の活用、及び創出の過程を検討します。そこから関連する各方面にどのような影響を及ぼし、またどのような課題があるのかを考察していきます。以上から、国際社会と地域社会に貢献できる人材を目指します。

●到達目標

「観光資源」の利用が経済効果を生むだけではなく、様々な方面に影響が波及することを理解することによって、より良い観光振興、地域振興の方策を考察します。そこから、グローバルな視角を持ちながら、ローカルに密着した振興策を提案できる力を身につけることができます。

●授業内容

- 1週目 ガイダンス：地域振興
- 2週目 歴史的町並みの再生と観光① 滋賀県長浜市
- 3週目 歴史的町並みの再生と観光② 京都市
- 4週目 都市の再生① 神戸・北野異人館
- 5週目 都市の再生② 神戸・南京町
- 6週目 文化芸術産業と観光① パブリック・ミュージアム：金沢21世紀美術館
- 7週目 文化芸術産業と観光② 現代アート：瀬戸内海離島
- 8週目 文化芸術産業と観光③ コンテンツツーリズム：アニメ
- 9週目 コミッションの役割：フィルムツーリズム・スポーツツーリズム
- 10週目 震災復興と観光
- 11週目 観光を通じた先住民族「振興」 アイヌ民族
- 12週目 大学と地域振興
- 13週目 観光地域づくりの舵取り役・DMO① 概要と海外の事例
- 14週目 観光地域づくりの舵取り役・DMO② 日本版DMO・阿寒湖
- 15週目 まとめ 小論文作成
- 16週目 振り返り・講評。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施できなかった場合は補講授業を行う。

●準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

参考書や関連の文献に基づいて予習を行う（1時間程度）。
毎授業配布するレジュメの復習をする（1時間程度）。

●成績評価の方法・基準

授業時に実施する小レポート 50%
小論文 50%

●履修上の留意点

- ・毎講義、質問やアンケートへの回答、及び小レポートの提出を課します。これらのうち、小レポートを除いてmanaba上で行いますので、スマホやタブレット、ノートパソコンなどのモバイル端末を持参ください（学内アクセスポイントを使用予定）。小レポートはレポート用紙を配布するので、回答のうえ提出します。
- ・遅刻や私語、飲食などの迷惑行為を慎むこと。改善されない場合は不合格となることがあります。欠席・遅刻は授業参加度の観点から管理しますので、ご注意ください。毎回配布するレジュメはまとめの小論文作成に必要となるので、保管しておくこと。

●課題に対するフィードバックの方法

- ・小レポートは基準に基づいて3～5段階に評価して返却します。
- ・小レポートの提出がなされない場合、欠席扱いとするので注意してください。

●テキスト

特になし。毎授業レジュメを配布する。

●参考書

安村克己『観光まちづくりの力学—観光と地域の社会学的研究』（学文社）2090円
橋本和也『地域文化観光論』（ナカニシヤ出版）2860円

●更新日付

2025/03/22 09:21